

平成25年度一般会計決算の特徴

＜歳入＞ ※（ ）は対前年度比

◎ 歳入総額は、2年連続で増加

- 県税(+133億円、+2.0%)、地方譲与税(+166億円、+19.7%)などの増により、2年連続で増加

歳入総額 1兆6,736億円(+61億円、+0.4%)

[H24]1兆6,675億円 [H23]1兆6,633億円 [H22]1兆6,916億円

◎ 県税収入は、2年連続で増加

- 株式市場の活性化や株価の上昇などによる個人県民税(株式等譲渡所得割)の増収、企業収益の改善による法人事業税の増収などにより、2年連続で増加

県税 6,674億円(+133億円、+2.0%)

※歳入総額に占める割合 39.9%(+0.7ポイント)

[H24]6,541億円 [H23]6,344億円 [H22]6,408億円 [H21]6,744億円

- 納税率は95.4%(+0.5ポイント)で、3年連続の上昇
- 収入未済額は284億円(△29億円)で、3年連続で圧縮

◎ 県債発行額は、2年ぶりに減少

県で発行をコントロールできる県債の残高は11年連続で減少

【県債発行額】

- 通常債の減少などにより、2年ぶりに減少

県債 2,992億円(△45億円、△1.5%)

※歳入総額に占める割合 17.9%(△0.3ポイント)

[H24]3,037億円 [H23]2,930億円 [H22]3,230億円 [H21]3,437億円

【25年度末残高】

- 県で発行をコントロールできる県債(臨時財政対策債・減収補填債を除いたもの)の残高は、前年度に比べ減少(平成15年度末に減少に転じて以降、11年連続減)

残高全体 3兆6,617億円(+805億円)

うち県で発行をコントロールできる分 2兆2,273億円(△749億円)

[H24]2兆3,022億円 … [H15]2兆5,778億円 [H14]2兆5,865億円

＜歳出＞ ※（ ）は対前年度比

◎ 歳出総額 2年連続で増加

- 商工費や公債費などの増により、2年連続で増加

歳出総額 1兆6,669億円(+64億円、+0.4%)

[H24]1兆6,605億円 [H23]1兆6,560億円 [H22]1兆6,818億円

◎ 商工費は、産業振興・雇用機会創出基金の創設等により増加

- 次世代産業の育成や雇用機会の拡大に向けた基金の創設に伴う積立て
- 西部地域振興ふれあい拠点施設整備事業費が増加

商工費 271億円(+120億円、+79.9%)

※歳出総額に占める割合 1.6%(+0.7ポイント)

◎ 公債費は、県債の償還金の増等により増加

- 県債の償還金(満期一括償還分)が増加

公債費 2,782億円(+199億円、+7.7%)

※歳出総額に占める割合 16.7%(+1.1ポイント)

◎ 人件費は、給与の特例減額等により減少

- 給与に関する地方交付税等の削減に伴う財政状況への対応などにより減少

人件費 5,927億円(△330億円、△5.3%)

※歳出総額に占める割合 35.5%(△2.2ポイント)